SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　ふく成　**更新**

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・週に1回の朝礼、会議を実施する中で、企業理念を周知し社内の意識統一を図っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社内コンプライアンスを掲げ、半年に1回の全社員理解法令遵守の読み合わせを実施している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・基本方針の中で、（四方よしの考え）環境問題に配慮し、良質な魚を育て、適正な価格で流通させ、水産業界自体が潤うようなビジネスの構築を目指している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・構成メンバーとして経営層代表（委員長） ・各事業部門責任者・サステナビリティ担当者を設けている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・INPIT（知財支援総合窓口）・九州経済産業局の支援を活用して、知的財産の保護に取り組んでいる。 ・今までに5つの知的財産登録を完了している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・CRMシステムを導入し、運用している。 ・研修会の実施（他社情報漏えい事例の社員教育など）、個人情報の保護規定、ECサイト等の顧客情報の管理体制を構築している。 ・個人情報を保護する為にルールが守られ、適切に取り扱われているか確認している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・EC事業において、お客様のご意見を取り入れた商品開発を行っている。 ・基本方針の中で、（四方よしの考え）環境問題に配慮し、良質な魚を育て、適正な価格で流通させ、水産業界自体が潤うようなビジネスの構築を目指している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・行政との連携で、様々なプロジェクトに取り組んでいる。 ・SDGsを取り組む企業とのコラボ企画を実施している。 ・取引先とのコミュニケーションを通して適切な取り組みや問題意識の共通理解を図っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCPの作成を完了し、BCP内容の定期的なブラッシュアップを行っている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・既に事業継承済であり、M＆A会社の事業継承も済んでいる。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・基本方針の中で、SDGsへの賛同を宣言している。 ・従業員の55%が女性、かつ、年齢層30代～70代と幅広く活躍出来る環境を整えており、ジェンダー平等を含め、公平な社内体制構築を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生に関する法令を遵守し、労働災害防止計画を作成・実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の すべてにおいて満たされた状態を重視し、公正な待遇を提供することへのコミットメントしている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・週休2日、在宅ワーク等、柔軟な働き方制度を導入している。 ・長時間労働の抑制を行うために時間管理を徹底している。 ・子どもの学校行事等には参加を推奨し、子育てと仕事の両立を支援している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・会社概要や事業内容、安全衛生に関する知識などを学んだり、食品衛生に関する知識や、販売スキルなどを学ぶ社内研修も実施している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員の健康状態や健康に関する意識などを把握し、毎年1回もしくは2回の健康診断を行い、健康診断の結果に基づいた個別指導を実施している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・従業員の60%が女性、かつ、年齢層30代～70代と幅広く活躍出来る環境を整えている。（業界の人材構造は、男性が多く、高年齢化が問題となっている）				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・オンライン会議やSNSチャットを導入している。 ・マスクの着用、定期的な換気、消毒等社内で感染予防対策に取り組んでいる。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・MJS.セールスフォース、アートロックフリーザー等を取り入れ業務効率化を図り、生産効率の向上を実現している。 ・AIを活用した画像認識技術を用いて、製品の品質管理を自動化したことにより人為的なミスを減らし品質の安定化に繋げている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物削減のため、「こっぱせん」(規格外の骨やアラなどを粉砕した新商品)を販売している。 ・ふぐの内臓は適切な処理で廃棄している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・自社エネルギー使用量をデータ可視化しており、エネルギー削減に取り組んでいる。(炭削くん) ★随時、照明をLEDに変更している。(一部交換済み)							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・車輌の燃費把握、向上させる為にメンテナンスや運転方法の工夫を行っている。 ・エネルギー使用量の見える化に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・養殖場の環境保全に餌の配合にも配慮している。 ・養殖魚の成長に必要な餌の量を削減することで、水質汚染や海洋環境への負荷を低減している。 ・養殖場の環境をモニタリングし、生態系に配慮した養殖手法を導入している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・魚の大きさや成長段階に合わせた餌を与え餌の無駄を減らしている。 ・段ボールの使用で更なるリサイクル促進することによって環境への負荷を低減している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水の大切さを理解し、適切な水管理を行っている。 ・水の使用量を可視化している。 ・節水を呼び掛けるポスターを掲示し意識向上に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・プラスチックの使用量を削減に向けて、紙製の包装材やバイオマスプラスチックを使用した包装材などを導入し、リサイクル可能な素材を使用したエコパッケージを開発している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・廃棄物削減のため、冷凍技術の高い冷蔵設備の導入や新商品(規格外の骨やアラなどから抽出したエキス)などの開発に取組み、商品化を実現している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・社内での緑化活動を積極的に行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・自社エネルギー使用量をデータ可視化しており、エネルギー削減に取り組んでいる。(炭削くん) ★随時、照明をLEDに変更している。(一部交換済み)							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・地元の住民と連携して、海岸の清掃活動を行っている。 ・海岸に漂着しているゴミを拾い集め、適切に処理している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・環境に配慮したエコドライブの資料を用意し情報共有を行っている。 ・従業員に対して、エコドライブの指導を行っている。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・自社エネルギー使用量をデータ可視化しており、CO2 排出量算定システムを用いて電気、エネルギーなどの使用データを入力、可視化しCO2削減に取り組んでいる。(炭削くん)							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・HACCP(危害分析及び重要管理点)に基づいた衛生管理や、国際的な食品安全基準への対応などを徹底し、生産から加工、販売まで一貫した品質管理体制を構築している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・誰もが分かりやすい表示や説明書を作成している。 ・ユニバーサルの理解を深め、ユニバーサルデザインの考え方を積極的に取り入れている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・食材/製品は、熊本県産品を使用し、その他材料等についても、地産地消の取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・地域経済の活性化、環境保全、防災・減災・レジリエンスなど、様々な社会課題の解決に取り組んでいる。 ・養殖場見学や養殖業体験を実施し、養殖業界の課題解決に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・【予定】2024年12月までにウミトロンを導入する予定で準備をしている。データに基づいて迅速に環境調整を行い、養殖魚の健康状態を最適化しコスト管理や飼料計算を自動化、可視化する。 ・HACCP認証を取得することで、製品の安全性を保証している。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地元住民の雇用創出に取り組んでいる。 ・地域の祭りやイベントへの参加、ボランティア活動[海の清掃(年1回)公共施設(年4回)]など、積極的に地域社会への貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・従業員が安全に避難できるよう、避難経路を整備している。 ・従業員向けの防災研修を実施し、防災意識向上に取り組んでいる。 ・ハザードマップの活用し社内にて閲覧しやすいように掲示している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・防災減災レジリエンスの強化を行い従業員の防災意識を高めている。 ・地域消防団の活動や訓練に参加している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・基本計画を策定し、社内でのSDGsの周知を図り、社員一人ひとりの意識改革を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・とらふぐ実技試験練習用に施設を提供している。 ・UXプロジェクトにおいて大学と連携し実習プログラムを実施している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・若者の地元定着促進に向け地元の魅力をPRし、会社紹介を積極的に行っている。 ・環境教育プログラムや養殖体験イベントを実施することで次世代の消費者や地域住民にふく成の取り組みを理解してもらっている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・自社の事業内容である水産養殖や加工・販売のノウハウを活かした「子ども向け教育プログラム」を運用している。(魚のさばき方教室、水産業の仕事に関する学習等)		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。